

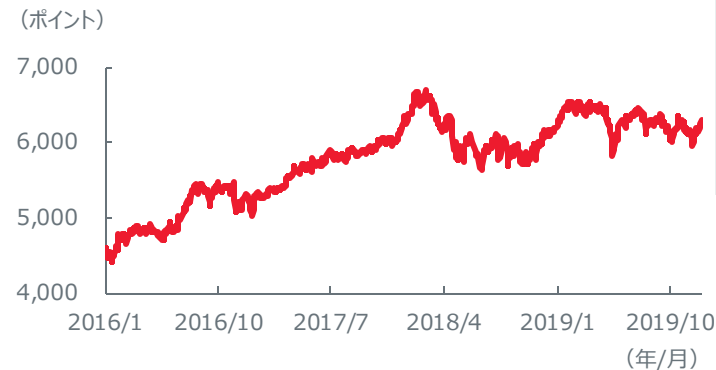
Indonesia Weekly

2019年12月23日



(対象期間：2019/12/16～2019/12/20)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年12月20日)



【株式市場】

16日に発表された11月の貿易収支は、輸出の伸び悩みが背景となり、10月の黒字から一転して4月以来最大の赤字となりましたが、市場では大きな影響は見られませんでした。19日、インドネシア中央銀行（BI）は金融政策会合にて、2ヵ月連続で政策金利5.0%のまま据え置くことを決定しました。今後も緩い姿勢を維持し、景気の下支えを目指す姿勢を示しました。セクター別では、金融、基礎産業・石油化学などが上昇した一方、農業、鉱業などは下落しました。

2019/12/13	2019/12/20	変化率
6,197.32	6,284.37	+1.40%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年12月20日)



【債券市場】

週初は、先週に引き続き財政赤字の上限緩和の報道が嫌気され、海外投資家を中心に資金流出が見られました。しかし、水曜日以降は、19日のBIの政策会合を前に海外投資家の資金流入が回復し、利回りは低下（価格は上昇）しました。BIは政策金利を据え置きましたが、通貨ルピアが堅調に推移していることなどを背景に、債券利回りは引き続き低下傾向となりました。

2019/12/13	2019/12/20	変化幅
7.233	7.170	-0.063

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年12月20日)



【為替市場】

株式市場への外国人投資家の資金流入が見られたことや、米中通商協議の「第一段階の合意」を受けてリスクオン地合いとなる中で、ルピアは対米ドルで上昇しました。貿易収支の大幅な赤字や、債券市場で外国人の売りが見られる中でも、終始堅調に推移しました。一方、週末にかけての米国の予想を下回る経済指標などを背景に、米ドル安円高となったため、対円でのルピアは下落しました。

2019/12/13	2019/12/20	変化率
0.7836	0.7825	-0.14%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保障するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ